様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	専門学校　日産愛知自動車大学校
設置者名	学校法人　日産学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車整備科	夜・通信	1529.6 時間	160 時間	
	一級自動車工学科	夜・通信	3636.8 時間	320 時間	
	自動車整備・カーボディマスター科	夜・通信	2532.8 時間	240 時間	
	自動車整備・マスターメカニック科	夜・通信	2523.2 時間	240 時間	
	自動車整備・トータルマスター科	夜・通信	3526.4 時間	320 時間	

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2025/06/FY25_tenpu_jitsumukeikenkyouin.pdf

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	専門学校　日産愛知自動車大学校
設置者名	学校法人　日産学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2025/06/FY25_2-1_houjinnorijimeibo.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和７年５月 28 日～ 令和９年５月 27 日	組織運営の統括
非常勤	株式会社役員	令和７年５月 28 日～ 令和９年５月 27 日	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	株式会社役員	令和７年５月 28 日～ 令和９年５月 27 日	組織運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校日産愛知自動車大学校
設置者名	学校法人日産学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

授業計画作成ガイドライン（https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/gaidorain.pdf）に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末※2 に掲載し、学生及び外部に公開している。

※2 学生所有のクロームブック・スマートフォン等のアプリ群「Google Work Space」

授業計画書の公表方法	ホームページにて公開 https://www.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/curriculum.html

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

規定出席率を充足したうえで、試験（筆記・実習）に合格することで履修を認定する。成績については、試験の点数により優・良・可の３段階で判定する。

学習評価について

学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。

合否の判定は下記「判定基準」により行います。

〈期末試験〉

教科の学習効果を判断するために、教科毎に行われます。
実習については授業内容の進捗により、教科の途中で試験の一部を実施することがあります。

〈判定基準〉

１）学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。

２）学科、実習共に成績得点が６０点（一級自動車工学科：７０点）以上を合格とします。

※２年次の国家２級資格取得のための特定の教科、工学科４年次の国家１級資格取得のための特定の教科においては、８０点以上を合格とします。

３）成績得点を基に評定（優・良・可)、成績順位が決められます。

※優：８０点以上　良：６０点以上（一級自動車工学科：７０点以上）
可：６０点未満（一級自動車工学科：７０点未満）

※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

成績評価は半期毎に、専門科目の期末試験の得点結果を合計し、その平均点で成績順位を算出する。
成績の公表は、半期毎に発行する成績通知書にて通知する。また、成績分布一覧を作成し、各個人の成績位置が分かるようにする。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2025/06/FY25_risyuuannai.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。〈ディプロマポリシー〉

＜自動車整備科＞
１種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による専門士(工業専門課程)を授与する
(1) 資格
①国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる
(2) 技術
①日産３級整備士資格を取得できる知識と技術を有している
②日産資格制度の日産３級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様応対スキルを身に付けている
(3) 人間力
①自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている
②チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している
③社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

＜一級自動車工学科＞
１種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による高度専門士(工業専門課程)を授与する
(1) 資格
① 国家一級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、自動車エンジニアとして高度で総合的な知見を有している
(2) 技術
① 日産２級整備士資格の学科試験に合格できる知識を有している
② 日産資格制度の日産２級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様応対スキルにより、お客様満足を優先する対応ができる
③ 企業経営に関する知識を身に付け、業務効率の重要性を理解している
(3) 人間力
① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる
② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力を身に付けている
③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードし

ていく意思を有している ④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる ＜自動車整備・カーボディマスター科３年次及び自動車整備・トータルマスター科３年次＞ １種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に卒業証書を授与する (1) 資格 ① 国家車体整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として基本的な自動車板金塗装作業ができる (2) 技術 ① 日産３級車体士、塗装士資格を取得できる知識と技術を有している ② 日産資格制度の１級、２級の知識を備え、尚且つ、日産３級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができる (3) 人間力 ① 主体性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に行動できる ② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力と協調と協力の意思を有している ③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる ＜自動車整備・マスターメカニック科３年次及び自動車整備・トータルマスター科４年次＞ 本校で定めた科目を履修していること (1) 資格 ① 実践的な整備作業（自動車、オートバイ、カート等）ができ、各種ライセンス（カート、Ｂ級ライセンス、タイヤ充填士）を取得できる技術を身につける (2) 技術 ① 重整備におよぶ自動車整備作業技術を有している ② 高度な自動車の運転技能を有している ③ オートバイ整備技術、レース車両作成の技術を有している ④ 車、バイクに関わる卒業制作品を完成させている (3) 人間力 ① 目標を共有するチームにおいて、そのチームワークを発揮できるコミュニケーション能力を有している ② 車の楽しさ（整備、運転）を知るエンジニアとなっている	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2025/06/FY25_risyuuannai.pdf

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	専門学校 日産愛知自動車大学校
設置者名	学校法人 日産学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2025/06/FY25_taisyakutaisyouhyou.pdf
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2025/06/FY25_shikinsyuushikeisansyo.pdf
財産目録	ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2025/06/FY25_zaimumokuroku.pdf
事業報告書	ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2025/06/FY25_24jigyoujisseki.pdf
監事による監査報告（書）	ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2025/06/FY25_kansahoukokusyo.pdf

２．教育活動に係る情報

①　-1 学科等の情報（自動車整備科）

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士
工業		工業専門課程	自動車整備科		○	－
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,809.6 単位時間	657.6 単位時間	単位時間	1,152.0 単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
200 人	193 人	149 人	14 人	14 人	28 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。 1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする 1 年次：915.2 時間 2 年次：899.4 時間 の専門教育を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）

学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。

合否の判定は下記「判定基準」により行います。

〈判定基準〉

1）学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。

2）学科、実習共に成績得点が６０点以上を合格とします。

※国家２級資格取得のための特定の教科においては、８０点以上を合格とします。

3）成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。

※優：８０点以上、良：６０点以上、可：６０点未満

※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。

学修支援等

（概要）

クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う

状況により個人面談や保護者面談を行う

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
48 人 （100%）	1 人 （　2.1%）	46 人 （95.8%）	1 人 （2.1%）

（主な就職、業界等）

日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ

（就職指導内容）

オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。

（主な学修成果（資格・検定等））

2 級ガソリン自動車整備士、2 級ジーゼル自動車整備士

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
149 人	5 人	3.4%
（中途退学の主な理由） 学力不振、経済的理由、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

①-2 学科等の情報（自動車整備・カーボディマスター科）

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td colspan="2">課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業</td><td colspan="2">工業専門課程</td><td colspan="2">自動車整備・カーボディマスター科</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td colspan="3" rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="4">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3年</td><td rowspan="2">昼</td><td colspan="3" rowspan="2">2,808.0
単位時間</td><td>932.8
単位時間</td><td>単位時間</td><td>1,875.2
単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td colspan="2">うち留学生数</td><td colspan="2">専任教員数</td><td>兼任教員数</td><td colspan="2">総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">75人</td><td>41人</td><td colspan="2">0人</td><td colspan="2">1人
(3年次)</td><td>1人
(3年次)</td><td colspan="2">2人
(3年次)</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td><td colspan="5">※1･2年次の教員数は自動車整備科に準ずる。</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする

1年次：915.2時間

2年次：899.4時間

3年次：993.4時間

の専門教育を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）

学習評価は教科ごとに下記試験を行い､合格しなければその教科を履修したと認められません。

合否の判定は下記「判定基準」により行います。

〈判定基準〉

１）学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。

２）学科、実習共に成績得点が６０点以上を合格とします。

３）成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。

※優：８０点以上、良：６０点以上、可：６０点未満

※評定及び成績順位は､期末試験に合格し､教科規定の出席率を満たした場合に決められます。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。

学修支援等

（概要）

クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う

状況により個人面談や保護者面談を行う

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17 人 （100%）	0 人 （　0%）	17 人 （100%）	0 人 （　0%）
（主な就職、業界等） 自動車販売会社			
（就職指導内容） オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2 級ガソリン自動車整備士、2 級ジーゼル自動車整備士、車体自動車整備士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	3 人	6.5%
（中途退学の主な理由） 学力不振、経済的理由、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

①-3 学科等の情報（自動車整備・マスターメカニック科）

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td colspan="2">課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業</td><td colspan="2">工業専門課程</td><td colspan="2">自動車整備・マスターメカニック科</td><td colspan="2">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td colspan="3" rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3年</td><td rowspan="2">昼</td><td colspan="3" rowspan="2">2,803.2
単位時間</td><td>900.8
単位時間</td><td>単位時間</td><td>1,902.4
単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td colspan="2">生徒実員</td><td>うち留学生数</td><td>専任教員数</td><td colspan="2">兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">45人</td><td colspan="2">23人</td><td>0人</td><td>1人
(3年次)</td><td colspan="2">1人
(3年次)</td><td>2人
(3年次)</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td><td colspan="4">※1･2年次の教員数は自動車整備科に準ずる。</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする

1年次：915.2時間

2年次：899.4時間

3年次：988.6時間

の専門教育を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）

学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。

合否の判定は下記「判定基準」により行います。

〈判定基準〉

１）学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。

２）学科、実習共に成績得点が６０点以上を合格とします。

３）成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。

※優：８０点以上、良：６０点以上、可：６０点未満

※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。

学修支援等

（概要）

クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う

状況により個人面談や保護者面談を行う

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 （100%）	0 人 （0%）	7 人 （100%）	0 人 （　　%）

（主な就職、業界等）
自動車販売会社

（就職指導内容）
オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。

（主な学修成果（資格・検定等））
2 級ガソリン自動車整備士、2 級ジーゼル自動車整備士、国内 B 級ライセンス

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	2 人	8.0%

（中途退学の主な理由）
学力不振、進路変更

（中退防止・中退者支援のための取組）
クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等

①-4 学科等の情報（自動車整備・トータルマスター科）

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td colspan="2">課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業</td><td colspan="2">工業専門課程</td><td colspan="2">自動車整備・トータルマスター科</td><td>－</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td colspan="2" rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="4">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4年</td><td rowspan="2">昼</td><td colspan="2" rowspan="2">3,801.6
単位時間</td><td>1,176.0
単位時間</td><td>単位時間</td><td>2,625.6
単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td>うち留学生数</td><td>専任教員数</td><td>兼任教員数</td><td colspan="2">総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">20人</td><td>18人</td><td>0人</td><td colspan="3">※1･2年次は自動車整備科、
3年次は自動車整備・カーボディマスター科、
4年次は自動車整備・マスターメカニック科の教員数に準ずる。</td><td></td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする

1年次：915.2時間

2年次：899.4時間

3年次：993.4時間

3年次：988.6時間

の専門教育を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）

学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。

合否の判定は下記「判定基準」により行います。

〈判定基準〉

１）学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。

２）学科、実習共に成績得点が６０点以上を合格とします。

３）成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。

※優：８０点以上、良：６０点以上、可：６０点未満

※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。

学修支援等

（概要）

クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う

状況により個人面談や保護者面談を行う

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2 人 （100%）	0 人 （　0%）	2 人 （100%）	0 人 （　0%）

（主な就職、業界等）
自動車販売会社

（就職指導内容）
オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、
就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。

（主な学修成果（資格・検定等））
2 級ガソリン自動車整備士、2 級ジーゼル自動車整備士、車体自動車整備士、
国内 B 級ライセンス

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等

① -5 学科等の情報（一級自動車工学科）

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	1 級自動車工学科		－		○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	3,920.0 単位時間	1,296.0 単位時間	単位時間	2,624.0 単位時間	単位時間	単位時間	
			単位時間					

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140 人	87 人	0 人	3 人	18 人	21 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。 1 時限は 80 分とし、 1 教育単位時間 50 分とする

1 年次：915.2 時間

2 年次：899.4 時間

3・4 年次：2105.4 時間

の専門教育を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）

学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。

合否の判定は下記「判定基準」により行います。

〈判定基準〉

１）学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。

２）学科、実習共に成績得点が７０点以上を合格とします。

※国家２級資格取得のための特定の教科においては、８０点以上を合格とします。

３）成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。

※優：８０点以上、良：７０点以上、可：７０点未満

※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。

学修支援等

（概要）

クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う

状況により個人面談や保護者面談を行う

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12 人 （100%）	0 人 （　0%）	17 人 （100%）	0 人 （　0%）
（主な就職、業界等） 日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ			
（就職指導内容） 外部講師による就職授業			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2 級ガソリン自動車整備士、2 級ジーゼル自動車整備士、1 級小型自動車整備士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77 人	2 人	2.6%
（中途退学の主な理由） 学力不振、経済的理由、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等（2025 年 4 月）

学科名	学年	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
自動車整備科	1 年次	240,000 円	642,000 円	410,000 円	施設設備整備費、実験実習費
	2 年次	−	642,000 円	410,000 円	施設設備整備費、実験実習費
自動車整備・カーボディマスター科	1 年次	240,000 円	642,000 円	410,000 円	施設設備整備費、実験実習費
	2 年次	−	642,000 円	410,000 円	施設設備整備費、実験実習費
	3 年次	−	642,000 円	450,000 円	施設設備整備費、実験実習費
自動車整備・マスターメカニック科	1 年次	240,000 円	642,000 円	410,000 円	施設設備整備費、実験実習費
	2 年次	−	642,000 円	410,000 円	施設設備整備費、実験実習費
	3 年次	−	642,000 円	500,000 円	施設設備整備費、実験実習費
自動車整備・トータルマスター科	1 年次	240,000 円	642,000 円	410,000 円	施設設備整備費、実験実習費
	2 年次	−	642,000 円	410,000 円	施設設備整備費、実験実習費
	3 年次		642,000 円	450,000 円	施設設備整備費、実験実習費
	4 年次		642,000 円	500,000 円	施設設備整備費、実験実習費
一級自動車工学科	1 年次	240,000 円	642,000 円	410,000 円	施設設備整備費、実験実習費
	2 年次	−	642,000 円	410,000 円	施設設備整備費、実験実習費
	3 年次	−	642,000 円	500,000 円	施設設備整備費、実験実習費
	4 年次	−	642,000 円	500,000 円	施設設備整備費、実験実習費
修学支援（任意記載事項）					
特待生奨学金制度 25 万円 若干名、遠隔地奨学金 25 万円 若干名、ファミリー支援制度 24 万円 全員、企業推薦奨学金 25 万円 全員、留学生特別奨学金制度 25 万円 日本語能力検定 N2 取得者 24 万円 全員					

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2025/06/FY25_jikotennkennjikohyouka.pdf
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
学校の実施する自己点検評価に対し、学校関係者による「学校関係者評価委員会」を設けて外部 評価を実施し、学校運営の継続的改善を図る。 ・主な評価項目：教育活動、学修成果、就職等の学生支援、学生募集、財務、等 ・評価委員会の構成：委員定数は最低 3 名。少なくとも①自治体代表、②企業代表、③団体代表、④卒業生代表の各分野から 1 名を選任。 ・評価結果の活用：6 月迄に前年度を対象に評価を受け、当年度の活動で、その改善方策を実施する。総責任者は校長。
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
名古屋市港区役所　区政部　部長	令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 9 年 3 月 31 日	自治体代表
東海日産自動車株式会社 エリア長	令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 9 年 3 月 31 日	企業代表
愛知県自動車整備振興会 部長	令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 9 年 3 月 31 日	団体代表
愛知日産自動車株式会社	令和 6 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日	卒業生代表

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） **学校関係者評価委員会開催後にアップロード**
第三者による学校評価（任意記載事項）

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.nissan-gakuen.ac.jp/school/aichi/